

★ 溺水に対する応急手当 ★

1 溺れている人を救助する

2 飛びこみなどの場合は頸のけがの有無の確認

3 呼吸を調べ、呼吸がなければ人工呼吸を行う

- ・ 気道を確保する。
- ・ 指で鼻をつまみ、自分の口で相手の口を覆う。
- ・ 5秒に1回の割合で息を吹きこむ。
- ・ 人工呼吸をしながら、岸へ運ぶ。



4 陸上で脈拍を調べる

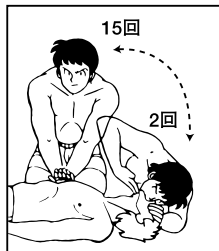
5 脈拍があれば人工呼吸を続ける

- ・ 指で鼻をつまむ。
- ・ 息を吸い、自分の口で溺れた人の口を覆う。
- ・ 5秒に1回の割合で息を吹きこむ。
- ・ 時々脈拍を調べる。



6 脈拍がなければ心肺蘇生法を行う

- ・ 圧迫位置を探す。
- ・ 両手で15回圧迫する。
- ・ 2回人工呼吸を行う。
- ・ 15回の圧迫と2回の人工呼吸を繰り返す。



7 溺れた人が吐いたら

- ・ ただちに顔を横に向ける。頸にけががあると判断される場合は体ごと横に向け、頭が下がらないよう支える。
- ・ 口の中をきれいにする。
- ・ 再び人工呼吸法又は心肺蘇生法を続ける。
- ・ 無理に腹部を圧迫して水を吐かせる必要はない。



集中豪雨に

備えて



集中豪雨とは短時間のうちに狭い地域に集中して降る豪雨のことで、梅雨の終わりがよくなるに起ります。狭い地域に限られ、突発的に降るため、その予測は比較的困難です。特に中小河川の氾濫や土砂崩れ、がけ崩れなどによって被害がもたらされますので、土地の低いところや、海

岸地域河川の近くでは十分な注意が必要です。

●土地の低い所・河川の近く

松前町内のほとんどの河川の堤防は整備されていますが、一部の地域では土地の低いところがありますので注意が必要です。早めに土のうな

どを用意しておきましょう。

●海岸地域

海岸地域の護岸もしっかりできていますが、豪雨により氾濫の恐れもありますので注意してください。

●水防団（消防団と兼務）

河川の氾濫や堤防の決壊などのおそれがある場合、水防本部が設置され、水防団を招集し、警戒や必要な防御、救助活動にあたります。

●安全対策は……

- ・ ラジオやテレビなどで気象情報には注意を。
- ・ 町から放送する防災の広報放送をよく聞いておく。
- ・ 停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオの用意を。
- ・ 非常持出品を準備しておく。
- ・ 外出先からは早く帰宅し、家族と連絡をとり非常時に備える。
- ・ 浸水に備えて家財道具は安全なところへ。



- ・ 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- ・ 危険なところではいつでも避難できる準備態勢を！